

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス 児童デイサービス「優」		令和8年 2月18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用する児童・生徒が安全で安心して活動できるように、指導訓練室を静と動で区分けできるように、ものの配置を工夫しています。	運動スペースで人数の多くなっていることがあり、手狭感を感じる可能性があるため、臨機応変に活動スペースを広くするなどの改善が必要と考えます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		個別対応の職員やできる限り余裕を持った職員体制を作れるようにしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		活動に必要な道具は、棚に道具の名前シールを貼ってわかりやすくしている。活動も運動スペース、座って取り組むスペースと視覚的に見てわかりやすい配置にしています。	使ったものを片付けしやすい配慮や構造化が課題。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		活動開始前と終了後で掃除を行っている。	子ども達と一緒に活動するスペースを清潔にすることや子ども達に合わせた空間にする機会が少ないところが課題と考えます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		面談室を必要に応じて活用している。	特にありません。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	日々の活動前ミーティングで、子どものこと、業務の事を共有し、振り返りや意見交換する機会を設けています。	多様な意見や考え方をどうまとめていくかが課題と考えます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者向け評価表を職員全員に共有し、何が求められているかを確認し合う。	保護者の方の移行などにおいて、事業所として出来ること、現時点難しいことがあるので、どのように改善していくかが課題です。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		活動前のミーティングといつでも話しを聞いてくださいと全職員と共有して業務改善に務めている。	意見がまだまだ出にくいところが課題です。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	現在、第三者による外部評価は行っていません。	業務改善を含め必要に応じて、第三者による外部評価を検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部講師を毎月招いて、テーマを決め研修を行っている。	研修内容を実際の運営に役立つものにするためにどうしていくかが課題です。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援往路プログラムの作成公表をしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		活動を踏まえてのアセスメント、保護者の方への聞き取りやニーズの聞き取りなど、こちらから積極的にやり取りをしています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		日々の活動前ミーティングで、子どものこと、業務の事を共有し、振り返りや意見交換する機会を設けています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		保護者の方への説明、サインを頂いた後に支援内容の共有を行っている。	計画内容の定期的な共有と進捗などの共有する機会がまだまだ少ないことが課題。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		支援内容を保護者の方にわかりやすく、作成している。	支援内容のボリュームが多くなってしまうことがあるので、簡潔にわかりやすいまとめをすることが課題。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	日々のミーティングで、児童発達支援管理責任者が提案し、その上で意見交換をし活動に移している。	多様な意見や考え方をどうまとめていくかが課題と考えます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		その時々で、一人ひとりの子ども達に何が必要かを考えるようにしている。	活動の幅がまだまだ広がっていないところが課題。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		その子自身の課題、集団生活においての課題と考えながら計画建てをして、偏った支援にならないようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		日々のミーティングの時間をしっかりとる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	支援終了後は時間が取れない為、翌日に振り返りや気づいた点を共有している。	職員が送迎で終了後集まらない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援経過記録として記録を残している。	具体的内容まで書ききれていない記録もある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		モニタリング時期を一覧にしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		職員が決めるのではなく、子ども達が主体的に判断できるように支援する。	支援員によって、支援のやり取りの差が出てしまうところがある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が基本出席するが、必要に応じて直接支援の職員も参加を行う。	相談支援事業所を利用している方がとてもなく、やり取りがあまりない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		相互にやりとりをするつながりがあまり持っていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校へのお迎え時に担任などの情報共有、調整等を行っている。必要に応じて、電話でやり取りも行う。	迎時は短い時間になってしまうので、情報共有が難しい面もある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	必要に応じて情報共有している。	情報共有がたくさんできていないところが課題。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		移行先とのやりとりが出来ていない部分が多い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2		連携がまだまだできていない。また、助言等を受けるための連携も課題。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	地域の子達がいるところへ積極的に出向く。	児童クラブや児童館などの交流が出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		帰りの送り時にできる限り当日の様子、気になることなどを伝える。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		現在実施できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明。	契約時のみになっていて、その後知る機会が持っていない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		聞き取りにしっかり時間をかける。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		具体的にわかりやすく説明する。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		相談や面談等は随時行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2		事業所移転の為、保護者会等開催できなかったが、新しい施設の内覧会を実施し。保護者同士で交流する機会をも受けていた。実施出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情があった場合は、すぐに対応する。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月お便りを発行し、予定や運営について子ども達の様子などを掲載している。	SNSの活用がほとんどできていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの書類庫で保管。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		具体的にわかりやすく説明する。	説明が伝わりきらない部分もある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		地域からの認知度がまだまだ低い。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	分野ごと、研修や訓練を実施している。	研修や訓練への職員間の理解度の違い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	定期的を実施。	職員側のBCPへの理解度の向上。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		利用前に確認をする。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食物アレルギー該当なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	適宜対応。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		家族への周知、理解までがまだまだできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		適宜対応。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		研修実施。	研修機会や学び、理解につなげる取り組みがまだまだ足りていないように感じます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	研修実施。	研修機会や学び、理解につなげる取り組みがまだまだ足りていないように感じます。	